

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164070	担い手育成支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		39,608	42,242		2,634
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	21,040	25,241		4,201
	地方債	0	0		0
	その他	12,000	12,000		0
	一般財源	6,568	5,001		-1,567

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

農業の担い手の育成を進める

事業開始の背景・経緯

農業者の高齢化、担い手不足の状況の中で、農業の持続発展を図るためには、集落を基本とした営農組織や意欲ある担い手を育成確保する必要があることから、経営指導体制を構築するとともに各種支援策を導入した。

事業概要

担い手農業者等法人化支援事業 200千円
 農業次世代人材投資事業 25,241千円
 担い手支援アドバイザー事業 8,000千円
 認定農業者協議会負担金 1,116千円
 新規就農者支援事業 5,284千円
 花巻版農業女子プロジェクト事業 2,401千円

担当部署	13100000 農林部 農政	担当課長	及川盛敬
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 担い手農業者等法人化支援事業 200,000円
 農業経営法人化支援事業（国庫事業：H30から市での予算措置の必要なし）の補助対象とならない一戸一法人等の設立に対し、20万円を交付する。（市単独事業） 1経営体×200千円=200千円
- 農業次世代人材投資事業 25,240,832円
 地域農業マスタープランに位置付けられた新規就農者（5歳未満）に対して、経営が安定するまで年間最大150万円を交付する。（交付期間は最長で5年間とする）
 （1）事務推進費 180,000円（事務消耗品、コピー代、電話代）
 （2）農業次世代人材投資資金 25,060,832円
 （資金の内訳）
 継続分 11,560,832円
 通年 1,500,000円×5経営体=7,500,000円
 上期のみ 750,000円×2経営体=1,500,000円
 ほか 減額補正有り 2経営体=2,560,832円（1,081,952円 および 1,478,880円）
 継続分（夫婦）4,500,000円
 通年 2,250,000円×2経営体=4,500,000円
 R3新規 4,500,000円
 通年 1,500,000円×3経営体=4,500,000円
 R3新規（夫婦）4,500,000円
 通年 2,250,000円×2経営体=4,500,000円

- 担い手支援アドバイザー事業 8,000,000円
 担い手支援アドバイザー（5名）を配置。事業費は市とJAが1/2ずつ負担。

- 担い手支援アドバイザーの主な業務
- ・集落営農組織のない地域への組織化の支援
 - ・組織担い手に対する法人化への誘導
 - ・個人担い手に対する認定農業者への誘導
 - ・認定農業者の農業経営改善計画の目標達成支援
 - ・組織担い手及び個人担い手に対する各種制度への加入促進等

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164070	担い手育成支援事業費

事業手法の詳細 2

4. 花巻市認定農業者協議会負担金 1,116,000円

認定農業者や認定農業者を目指す農業者によって構成された組織。研修会等を実施し会員の農業経営能力の向上を図る。

花巻市補助金・負担金の交付基準2を準用

補助対象経費を協議会の運営に関する事務費、会議費、研修費、広報費等とし1/2以内とする。
補助対象経費から飲食は除く

5. 新規就農者支援事業 5,283,732円

(1) 広報費 0円

東京で行われる新・農業者フェアに出展し、花巻市の農業をPRする予定であったが、コロナ禍により出展を見送った。

出展料 55,000円×0回=0円

職員旅費 45,040円×0人×0回=0円

(2) 就農支援 3,221,932円

市内に住所を有する者で新たに農業経営を開始する個人又は団体（法人を除く）を補助対象としている。ただし、親元就農は事業の対象としない。

初期費用補助 3,128,012円

農業経営を開始する際に必要な機械・資材等購入に対する初期費用補助（上限800千円）。

800,000円×2人=1,600,000円

777,830円×1人= 777,830円

750,182円×1人= 750,182円

農地の賃借料補助 93,920円

経費負担の軽減を図るため、圃場の賃借料補助する（10aあたり10千円、最大50aまで）。

36,330円×1人=36,330円

25,000円×1人=25,000円

16,590円×1人=16,590円

16,000円×1人=16,000円

(3) 農業研修支援事業 2,061,800円

市内に住所を有する者で新たに農業経営を開始する個人又は団体（法人を除く）を補助対象としている。ただし、親元就農は事業の対象としない。

家賃補助 311,800円

交付期間を2年以内とする上限2万円の家賃補助。

20,000円×11ヶ月×1人=220,000円

7,650円×12ヶ月×1人= 91,800円

農業研修受入補助 1,750,000円

交付期間を2年以内とする月額5万円の受入補助。

50,000円×12ヶ月×2経営体=1,200,000円

50,000円×11ヶ月×1経営体= 550,000円

事業手法の詳細 3

6. 花巻版農業女子プロジェクト事業 2,401,555円

女性農業者の活動に対するアドバイザーを設置するほか、女性農業者を中心に結成されたグループが実施する事業への補助。

(1) アドバイザー報酬（1名） 2,315,392円

報酬 1,802,031円、通勤手当 51,029円、期末手当 153,394円、共済費 308,938円

(2) 農業女子プロジェクト事業補助金 86,163円

花巻版農業女子プロジェクトチーム「農花アグリヴィリーノ」の活動を助長するために補助金を交付する。活動内容は、以下のとおり。

県内マルシェ等へ出店

女性農業者が生産した農産物を県内で販売。

研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大を受け、外部講師による研修を中止し、内部研修会を実施。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164080	農地有効活用事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		79,711	33,490		-46,221
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	56,348	20,128		-36,220
	地方債	0	0		0
	その他	940	2,758		1,818
	一般財源	22,423	10,604		-11,819

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

農業の担い手の育成を進める

事業開始の背景・経緯

農業の担い手の確保、育成を図るため、担う手への農地集積・集約化を推進し農業経営を安定させる必要がある。そのため、平成26年度から制度開始となった農地中間管理事業の実施や、(一社)花巻農業振興公社への支援を行うこととなった。

事業概要

機構集積協力金 20,128千円
 担い手への農地集積や集約化を推進するため、農地中間管理機構を活用した農業者へ協力金を交付
 農地中間管理事業受託費 2,759千円
 農地中間管理機構が行う業務のうち、事業の普及推進や農用地利用配分計画案の作成等、市へ委託される業務の実施
 特定地域農地流動化交付金 3,900千円
 中山間地域等の借受希望者が少ない地域の農地を借り受けた農業者へ交付金を交付
 花巻農業振興公社負担金 6,042千円
 農地中間管理事業の一部及び農地利用集積円滑化事業を担う(一社)花巻農業振興公社の運営に係る費用の負担
 農地集約化推進事業 663千円

担当部署	13150000 農林部 地域農業	担当課長	及川盛敬
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

1. 機構集積協力金交付事業 20,127,700円 (R2: 56,348,400円 前年度比: 36,220,700円)

(1) 事務推進費 200,000円
 ・機構集積協力金の交付事務等に係る消耗品費

(2) 機構集積協力金 19,927,700円
 地域集積協力金 10,564,200円 (交付対象地域: 9地域 交付対象面積: 5,769a)
 【概要】機構の活用割合に応じて、「地域」に対して交付
 【交付単価】

機構の活用率	一般地域	中山間地域	交付単価
20%超40%以下	4%超15%以下		1.0万円/10a
40%超70%以下	15%超30%以下		1.6万円/10a
70%超	30%超50%以下		2.2万円/10a
-	50%超		2.8万円/10a

【R2 実績】42,332,400円 (交付対象地域: 9地域 地域交付対象面積: 19,857a)

経営転換協力金 9,363,500円 (交付対象者: 56名 交付対象面積: 6,343a)
 【概要】離農または部門減少等により、担い手への農地集積に協力した農業者等へ交付
 【交付単価】1.5万円/10a
 【R2 実績】13,816,000千円 (交付対象者: 107名 交付対象面積: 9,427a)

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164080	農地有効活用事業費

事業手法の詳細 2

2. 農地中間管理事業受託費 2,758,352円 (R2: 940,171円 前年度比: 1,818,181円)

【概要】農地中間管理機構が行う業務の一部(事業の推進、農用地利用配分計画案の作成等)を市、(一社)花巻農業振興公社にて受託。

【内訳】需用費: 2,337,562円
役務費: 183,000円
借上料: 237,790円

3. 特定地域農地流動化交付金 3,900,000円 (R2: 3,836,000円 前年度比: 64,000円)

【交付対象者・交付対象面積】19名 1,950a

【概要】中山間地域等の借受希望者が少ない地域の農地を借り受けた農業者等へ交付

【交付単価】20千円/10a

【R2実績】3,836,000円(交付対象者: 7名 交付対象面積: 1,918a)

4. 花巻農業振興公社負担金 6,041,400円 (R2: 15,156,700円 前年度比: 9,114,700円)

農地中間管理事業及び農地利用集積円滑化事業を担う(一社)花巻農業振興公社の運営を支援する。

負担金の減額について

現在会費から捻出している人件費を指導研究事業(新規就農者技術習得施設指定管理、葡萄が丘農業研究所管理)へ付け替えを行ったため。

5. 農地集約化推進事業 663,000円 (R2: 3,430,000円 前年度比: 2,767,000円)

【概要】担い手への農地集積・集約化を加速し、農業の生産性を高め競争力を強化していくため、担い手同士が農地の地理的な集約化について話し合うことができる場を設定するなど、農地の地理的な集約化を進めやすい環境を整える。

予算の減額について

昨年度は、農地中間管理機構契約管理システムの構築費用が計上されていたため(R3はシステムの保守管理費用のみ)。

事業手法の詳細 3

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164350	農業法人等支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	495		495
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	495		495

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
農業の担い手の育成を進める

事業開始の背景・経緯
労働力確保をはじめとした市内農業法人等が抱える課題を解決し、法人経営の安定化・充実化を図る必要がある。そのために個別カルテを作成し課題の整理を行い、関係機関と情報共有しながら法人設立後の課題解決に向けた新たな支援策の検討等を進める必要がある。

事業概要
農業法人等PRパンフレットの作成 495千円 市内農業法人等のPR、市内への新規就農を目的としたパンフレットの作成 新・農業人フェア等への出展に対する支援 0円（中止） 市内農業法人と首都圏等でのイベントに出展する際の旅費等に対する支援 専門家による経営相談等に対する支援 0円（活用なし） 農業経営の専門家（中小企業診断士、税理士、社労士等）への相談に係る費用への支援

担当部署	13150000 農林部 地域農業	担当課長	及川盛敬
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
農業法人等支援事業 R3 495,000円（R2 0円 前年度比 +495,000円） 1 農業法人等PRパンフレットの作成 495,000円 【概要】 市内農業法人や市内への新規就農のPR等を目的としたパンフレットを作成し、各種フェア、イベント等での配布、都内飲食店等への掲示をはじめとした周知活動を行った。 2 各種フェア等への出展に対する支援 0円（費用弁償） 【概要】 雇用就農を検討している市内農業法人等と首都圏等で開催される新・農業人フェア等へ出展する際の旅費等に対する支援。 新型コロナウイルス感染症拡大により新・農業人フェア等への出展を取りやめ。 3 専門家による経営相談等に対する支援 0円 【概要】 農業法人等が経営課題の解決等を図るための専門家（中小企業診断士、税理士、社労士等）への相談費用への支援を行う。 令和3年度活用実績なし。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164430	大迫地域ぶどう産業振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		25,250	8,484		-16,766
財源内訳	国費	6,484	0		-6,484
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	18,000	8,000		-10,000
	一般財源	766	484		-282

特定財源の内訳				

事業期間	単年度繰返	期間限定	~	
------	-------	------	---	--

部重点施策における目標
担い手・新規就農者の育成支援

事業開始の背景・経緯
ぶどう農家の高齢化や後継者不足のなか、地域の基幹産業であるぶどう産業の維持発展を図るため、新規就農者の受け入れ態勢の整備と、大迫ぶどう産業振興ビジョンを推進するための事業経費を計上する。

事業概要
葡萄が丘農業研究所長の配置等 3,874千円 葡萄が丘農業研究所維持経費 252千円 花巻市ぶどう園地管理耕作事業補助 2千円 大迫ぶどう産業振興協議会への負担金補助 1,226千円 醸造用ぶどう垣根等改修事業補助金 756千円 新規就農者技術指導員の配置 2,375千円

担当部署	22130000 大迫支所 大地(農林)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1 葡萄が丘農業研究所長 3,874千円 農業生産に関する試験研究等を行い、農業者の生産技術の向上及び所得の増大を図り、市民等の生活の安定に役立てるため、葡萄が丘農業研究所長を配置。 勤務場所：葡萄が丘農業研究所 勤務体系：週4日、1日7.5時間
2 葡萄が丘農業研究所維持経費 252千円 事務消耗品等92千円、公用車リース料160千円
3 花巻市ぶどう園地管理耕作事業補助金 2千円 高齢化や担い手がないぶどう農家において、ぶどう栽培を継続できない園地の栽培管理を委託し、管理耕作する経費に対し補助金を交付する。 【実績】 R2：0件 R3：1件
4 大迫ぶどう産業振興協議会負担金 1,226千円 大迫地域の目指す姿を示した「大迫ぶどう産業振興ビジョン」（平成29年3月完成）を実現するため、関係機関と連携・協働しながら事業を推進する協議会への負担金補助。 令和3年度協議会事業費 1,226千円
5 醸造用ぶどう垣根等改修事業補助金 756千円 ワインの原料となる醸造用ぶどうを安定的に確保するため、老朽化した垣根施設等の小規模改修に係る経費に対し補助金を交付する。 令和元年度(実績) 改修等面積 164a 事業費 4,023千円×1/2 補助額 2,012千円 令和2年度(実績) 改修等面積 382a 事業費16,849千円×1/2 補助額 8,424千円 令和3年度(実績) 改修等面積 12a 事業費 1,512千円×1/2 補助額 756千円
6 新規就農者技術指導員 2,375千円 市内全域の新たな担い手となる多様な新規就農者に対する技術指導と情報提供を行うため新規就農者技術指導員設置要綱に基づき配置する。 勤務場所：葡萄が丘農業研究所 勤務体系：週4日、1日7.5時間